

あなたの心のモノサシは正しいですか

「心で思っていることは、無意識に言動にできることがある」ということを聞いたことがあります。思っていることが正しければ、問題は起こりませんが、間違っていたらどうでしょう。このことについて書かれた記事がありましたので紹介します。

昨年、車を走らせていた時のこと。隣の車が急に前へ割り込んできました。その瞬間、私は「安全確認もせずに車線変更するのは女性だろう」と発していました。その時、助手席に座っていたTさんが「今のは偏見だよ」と痛烈な一言を言ってくれたのです。

とっさの言動には、日頃の考え方や心の状態が表れます。無意識に出る言葉や態度に、その人の人間性が表れると書かれていた本を思い出しました。まさに「危

なつかしい運転女性」という自分の思い込みが表面にでてしまった場面でした。この出来事をきっかけに、自分の言動を意識するようにしたところ、思い込みや偏見が目につくようになりました。例えば「男なら：女なら：」という性別による役割分担の考え方や「不審者」と聞くと「黒いサングラスにマスク姿」をイメージしたり、自分の都合で良い悪いのレッテルをつけていたり。自分の価値観だけで判断していることに気づいたのです。「意識すると見えないものも見えてくる。見えないのは、見ようとしなから」ということに、改めて気がつかせてくれたTさんに感謝しました。

私たちは、日常生活の中で知らず知らずのうちに「〇〇は、△△だ」というように決めつけるモノサシを持っていることがあります。

そして、それが当たり前と思い込み、とっさの時、無意識に出てしまうことがあるのです。この「無意識の言動」を変えるためにも、「さつきあんなことがあったけど、あれは人権の侵害だよね」といった話が、ごく普通に家庭や職場で交わされ、お互いの人権意識が高まるような社会になればと思います。

(宇佐市発行人権コラム「こころのトビラ」より)

「一年の計は元旦にあり」といいます。あなたは、今年一年の人権に関する目標を何にしますか。

市人権推進課(教育庁舎1階)
 ☎ 32・2122
 FAX 33・3525
 Mail:jinkensuishin@city.komatsushima-i.tokushima.jp

市民文芸 花みずき歌壇 (340) 松並敦子・選

かざなかの楠の青葉の頂きに光の子らがキラキラ遊ぶ

ひのみね総合療育センター 関 政明

《評》療舎の窓からの風景だろうか。やさしい風を受けて、かるやかにそよぐ楠の青葉の一枚一枚のきらめきが、「光の子ら」の姿に見え、そして「キラキラ遊ぶ」イメージに膨らんでいく。メルヘンチックで、童話の世界に引き込まれてゆくような、関さんの感性に触れることの出来る作品。

野うさぎのごとく危険を知る術も役にはたため一室狭し

立江町 大西 和美

遠き日の思い出のごと夜店の灯息子の買いくれしタコ焼きうまし

横須町 三宅 敏恵

氣象庁の予報たがわず雨続き一気の冷えに縮入れ羽織る

神田瀬町 大西カヲル

耳鳴りも色々な音蝉の声波打ち際の満ち引きの音

中田町 倉橋 正則

草を抜く庭に秋の風やさし金木犀の香に仕事はかどる

赤石町 田原トシ子

買い物に行きたいけれど雨続き愛車の自転車では無理かも

坂野町 橋本千代乃

延び延びのカメラ検査に医師曰く「一年先は逃げ道あらず」

江田町 深田 伴子

葉の型のお皿を選び書き抜きの体験しおり陶業会館

横須町 山崎 泰子

階段をかけ上りゆく青年ははや風となり消えてゆきたり

田浦町 西 照子